

野外教育事業

<スタッフ体制について>

全ての引率スタッフ（ボランティアリーダー含む／以下同）は、野外活動の実施にあたって以下の対応をします。

- ①活動日を含む1週間前よりの検温、呼吸器症状を含む健康チェックを行い、指定用紙に記録し、活動実施時には同様の確認を活動時間に応じて1～2回行います。
- ②発熱（感染症法で定められた37.5度以上）または呼吸器の症状があるスタッフは、症状が改善するまで活動引率を行いません。
- ③過去2週間以内に海外への渡航歴のあるスタッフは活動引率を控えます。
- ④来退館時及び活動中はマスクを着用し、定期的に手洗い・うがいを行い、水分補給をします。

<施設・設備について>

- ①公共機関を利用する場合は、混み合う路線や時間帯を避け、マスク着用を必須とします。また、乗車前後は手指の除菌を行います。
- ②貸切バス（YMCAバス含む）を利用する場合は、埼玉YMCA送迎バスガイドラインを基に利用します。
- ③館内施設を使用する場合は、特に手で触れる部分の事前・事後の除菌を徹底します。
- ⑤活動で使用する備品は、共有を極力少なくし、共有使用前後は備品の除菌を徹底します。
- ⑥3密状態を避けるため、分散活動を主とし、活動内容の企画、実施に努めます。

<ご来館・プログラムご参加の皆様へのごお願い>

- ①活動日を含む3日前よりの検温、呼吸器症状を含む健康チェックを行い、指定用紙に記入して活動日の当日朝に提出をお願いします。記入内容に不備がある場合、またはご提出をいただけない場合はご参加をお断りいたします。なお、活動時には同様の確認を活動時間に応じて1～2回実施します。
- ②活動当日に発熱（感染症法で定められた37.5度以上）または呼吸器の症状がある方は、参加をお断りします。
- ③過去2週間以内に海外への渡航歴のある方は活動参加を控えてください。
- ④来退館時及び移動時は、マスクの着用をお願いします。活動中は、体調不良、熱中症等の要因になる可能性があるため外して行い、定期的に手洗い（除菌）※グループリーダーが除菌液を常備します・うがいを行い、水分補給をします。